

ライチ便り No. 62

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2025 年 8 月号～

<http://lychee-club.jp/>

立秋はとっくに過ぎたのに、猛暑の連続日数は記録更新中という日々ですが、皆さまいかがお過ごしですか？ お盆前の豪雨、被害はなかったでしょうか？

もうすぐ 9 月。新学期が始まり、つくつく法師や虫の声も聞かれるようになって、よく見ればあちこちに小さな秋が芽吹いています。ひきつづき水分と塩分を補給しながら、元気を出して残暑をのりこえましょう。

「中国茶教室」レポート

“茶太”こと山本和恵先生を知ったのは 2024 年のライチ倶楽部飲茶会でのことである。茶の歴史・種類等についての膨大な資料を戴き、ワクワクしながらお話を伺ったが、時間はあっという間に経ってしまった。せっかくの資料をもっと活用したい、山本先生との御縁を繋いでいきたいと、今年6月に中国茶を学び楽しむ「中国茶教室」が立ち上がった。月に1回山本先生の元に7～8名が集まって、茶葉そのものや喫茶の習慣や歴史についてのお話を聞きながら、中国茶を味わう会である。

この会では山本先生お手持ちの茶道具を使わせてもらっている。茶道具の中でも陶磁器は美しく、形や彩色の多様さに目を見張る。ポットや碗・盃・盆など、それぞれが機能的な役割を持っているのも楽しい。

茶の木は元々種類なのに茶葉は多種多様で、生育の場所や製造過程によって味も香りも色も異なっていく面白さがある。一緒に食べる菓子は中国の物に限らず、和菓子・洋菓子、生菓子・干菓子・乾物類。中国茶自体の味の幅広さが、どんな食べ物にも合うのだと思う。

馥郁とした茶の香りに包まれた豊かな時空間…“茶太”が季節に合わせて茶葉も茶道具も用意し、場の設定をして創り出してくださる中国茶教室。長い歴史と広い国土と深い風習を持つ中国に、ほんの少しだけ触れることができた気がする。

(松田)



少年野球交流が行われました

8月1日から7日にかけて、広東省の少年野球チームが福岡県を訪れ、筑後川旗第42回学童軟式野球大会に参加しました。

近年、中国では「野球」というスポーツを盛り上げようという動きが広がっています。その背景には、将来的な市場拡大を見据えた中国野球界の期待があるとともに、放課後の運動の一環として「投げる・打つ・走る」といった基礎的な動きを身につけられる野球に関心を寄せる子どもや保護者が増えていることも挙げられます。



今回の訪問では、大会への出場の他に、久留米や小郡の球場で地元チームとの交流試合が行われました。子どもたちは言葉が通じなくても、野球を通じてすぐに打ち解け、仲良くなる姿が見られました。このような国境を越えたスポーツ交流が、今後ますます広がっていくことを期待したいですね。

この事業は、来年以降も続けていくということですので、福岡広州ライチ倶楽部でもぜひ関わりを作りたいという方がありましたら、ぜひご連絡ください。

交流事業担当者：広州東工物産貿易有限公司 総経理 石澤岩雄

(奥田)

日本語弁論大会福岡市長賞受賞の莫さんを囲む会



在広州日本総領事館主催で毎年行われている日本語弁論大会で福岡市長賞を受賞した学生が、今年も福岡に招待され、1週間ホームステイしました。受賞者は広東工業大学2年生の莫梓焮(ばくしんきん)さん。

8月22日の夜、ライチ倶楽部有志で莫さんを囲む交流会を行いました。ホームステイ先の大学生や現在福岡の大学に留学中の広東出身留学生、そして福岡市国際交流課の広州交流担当係

長の参加もあって、若々しいにぎやかな交流になりました。

莫さんは2年生で日本語学習歴はまだ長くないにもかかわらず、とても流暢によどみない交流ができることに驚かされました。因みに弁論大会でのタイトルは「不思議な日本人の動作」だったそうです。何が不思議だったのか、ゆっくり聞いてみたいと思いませんか？

こうした若人の交流がこれからも続けられることを強く願っています。 (千葉)

*当倶楽部のHPと各種 SNS を開設しています。是非アクセスしてみてください。

*会費未納の方は、今年度会費の振込をお願いします。個人:3000 円 団体:一口 10000 円

*会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。